「四国の道づくりを考える」公開シンポジウム

—地方の道路整備のあり方を問う—

参加者募集
参加無料

社会経済全体の構造改革が進む中、特に地方の道路整備のあり方について、さまざまな議論がなされています。四国では、本四三橋の完成、Xハイウェイの開通により、交通環境が大きく様変わりしました。一方、高速交通基盤が整備された地域と未整備地域の格差が拡大し、一般道路でも都市周辺と山間部での格差は依然として残っているのが現状です。これからの四国にとって必要な道路とは？四国らしい道路づくりとは？ 中央からの有識者の方々とさまざまな思い、それぞれの意見を出し合って、四国の道づくりを共に考えましょう。

日時：平成14年8月24日(土) 13:00～16:00

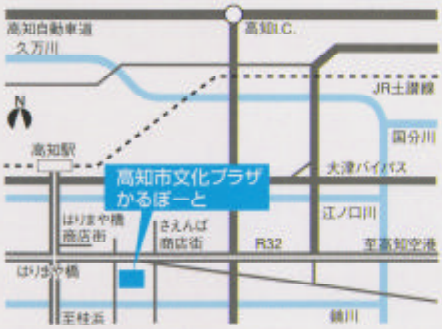
会場：高知市文化プラザ　かるぽーと

高知市九反田2-1　TEL088-883-5011（代）

プログラム

プレゼンテーション	木下　賢司	四国地方幹線道路協議会幹事長
パネルディスカッション		
コーディネーター	遠山　仁	高知新聞社編集局　政治部長
パネリスト	佐藤　三千男	読売新聞社・論説委員
	白石　真澄	東洋大学経済学部助教授
	柏谷　増男	愛媛大学工学部教授
	梅原　一	須崎市長
	森永　教夫	国土交通省道路局地方道・環境課長

■会場案内図



駐車場：約200台（有料）

●はりまや橋より徒歩5分 ●高知駅より車で5分
●高知I.C.より車で10分　●高知空港より車で30分

パネルディスカッション出席者

遠山　仁
高知新聞社・編集局政治部長

1951年奈良県生まれ。京都大学文学部（史学科東洋史学専攻）卒業後、1977年高知新聞社入社。社会部、政経部、高岡支局長、信川支局長、論説委員、政治部副部長などを経て、2001年4月から政治部長。

佐藤　三千男
読売新聞社・論説委員

1972年 早稲田大学第一政治経済学部卒業　同年 読売新聞社入社北海道支社勤務などを経て 1978年 東京本社編集局経済部 1987～90年 ロンドン支局勤務（欧州経済担当）1992年 経済部次長 1998年一論説委員（財政、国土交通行政を担当）現在、財政制度審議会委員（財務省）・独占禁止懇談会委員（公正取引委員会）・財団法人 道路経済研究所評議員・財団法人 都市みらい推進機構理事などを務める。

白石　真澄
東洋大学経済学部助教授

1987年 関西大学大学院（工学研究科 建築計画学専攻）修士課程修了。修士論文は「廃棄性老人の建築空間条件に関する研究」。1989年から2002年3月までニッセイ基礎研究所にて、少子・高齢化、バリアフリーを中心に調査・研究に取り組む。沖縄振興開発審議会（内閣府）、社会資本整備審議会及び交通政策審議会（国土交通省）、などの公職をつとめる。

柏谷　増男
愛媛大学工学部教授

1969年 京都大学大学院工学研究科修士課程交通土木工学専攻修了 同年京都大学助手（工学部交通土木工学科） 1975年　愛媛大学講師（工学部海洋工学科）1976年 工学博士（京都大学）1977年 愛媛大学助教授（工学部海洋工学科）1985年から愛媛大学工学部教授。

梅原　一
須崎市長

1929年生まれ。1953年 日本体育大学卒業。高知県立短期大学学長代理などを経て、高知県議会議員3期就任。1996年から須崎市長。主たる現職　高知県バレーボール協会名誉会長・高知県赤十字有功会理事・高知県国保連合会理事長。

森永　教夫
国土交通省道路局地方道・環境課長

1976年 北海道大学大学院工学研究科卒業後、建設省へ入省。近畿地方建設局道路部計画調整課長、同局京都国道工事事務所長など歴任後、2001年 国土計画局調整課長を経て、翌2002年から道路局地方道・環境課長。

●定員300名　●参加方法／当日、直接会場にお越しください。

●お問い合わせ

〒760-8554　香川県高松市福岡町4丁目26-32
国土交通省四国地方整備局 地域道路課内「四国の道づくりを考える」
公開シンポジウム事務局
TEL（087）851-8061（代）　FAX（087）826-2747

主催：四国地方幹線道路協議会

後援：愛媛新聞社・高知新聞社・四国新聞社・徳島新聞社（50音順）21世紀活力ある道づくりを目指す四国連合協議会・（社）四国建設弘済会